



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月7日

上場会社名 株式会社 荏原製作所

上場取引所 東 札

コード番号 6361 URL <http://www.ebara.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 矢後 夏之助

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理財務統括部長

(氏名) 長木 健悟

TEL 03-3743-6111

四半期報告書提出予定日 平成24年2月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	264,349	△0.6	6,064	△70.3	2,354	△86.4	△930	—
23年3月期第3四半期	265,990	△15.9	20,425	209.5	17,359	228.8	10,236	—

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 △3,781百万円 (—%) 23年3月期第3四半期 5,018百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	△2.20	—
23年3月期第3四半期	24.25	21.65

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	462,540	149,610	31.5
23年3月期	507,898	154,939	29.9

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 145,650百万円 23年3月期 151,950百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	395,000	△1.7	20,000	△36.6	16,000	△44.3	8,000	△71.6	18.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 4「サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	422,872,658 株	23年3月期	459,245,678 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	673,350 株	23年3月期	37,168,870 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	422,136,942 株	23年3月期3Q	422,167,831 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)P.3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項.....	4
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用.....	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
4. 補足情報	12
受注及び販売の状況	12

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

《業績の全般的概況》

当第3四半期連結累計期間における事業環境は、海外では米国において失業率の高止まりや住宅価格の下落などを背景に景気の回復ペースが鈍化しています。ヨーロッパにおいても継続する金融システム不安から景気減速が見られる一方、アジアでは中国の景気が内需を中心に堅調に推移しました。国内では、公共部門の投資は平成23年度補正予算の効果により底堅く推移し、民間部門においても震災を機に落ち込んだ設備投資が下げ止まりつつあり、景気は緩やかに持ち直してきました。

このような経済情勢のもと当社グループは、平成25年度を目標年度とする3ヵ年の中期経営計画「E-Plan2013」の初年度として、①重点地域での“域産域消”を推進すると同時にグローバルな視点に基づく最適地生産及び製品供給体制を確立する、②中核事業の領域拡大により新市場への進出を図る、③科学的アプローチにより“ものづくり”プロセスの最適化を図る、④事業領域のグローバル化に即して本社機能を拡充する、という4つの基本方針のもと、より確実で安定した事業構造の確立に向けてスタートしました。

当第3四半期連結累計期間は前年同期と比べて、受注高は風水力事業で増加したものの、エンジニアリング事業、精密・電子事業で減少したため、全体としては減少しました。売上高は、精密・電子事業で増加したものの、風水力事業、エンジニアリング事業で減少したため、全体としては減収となりました。営業損益は、風水力事業及びエンジニアリング事業における減益を精密・電子事業の利益増でカバーできず、全体としては減益となりました。

当第3四半期連結累計期間における売上高は2,643億49百万円（前年同期比0.6%減）、営業利益は60億64百万円（前年同期比70.3%減）、経常利益は23億54百万円（前年同期比86.4%減）、四半期純利益は平成23年度税制改正等に伴う繰延税金資産17億円の取り崩しにより、9億30百万円（前年同期比111億67百万円の悪化）の純損失となりました。

《セグメントの状況》

風水力事業では、ポンプ事業は海外市場において、中東を中心とする石油・ガス業界、水インフラ設備業界などの案件数は増加していますが、円高の進行により厳しい価格競争が続いています。国内市場においては、公共部門では補正予算が執行されているものの、ポンプなど設備関連の予算は縮減傾向にあり、民間の建築設備業界も建築着工件数の伸びに一服感が見られました。このような状況の中、地域ごとのマーケティング活動によるニーズの掘り起こしや生産革新運動等による競争力の向上に努めました。コンプレッサ・タービン事業では、石油・ガス業界の案件数が増加して受注環境が上向きつつあるものの、大型案件については欧米企業との競争が厳しくなっています。このような状況の中、アジア・太平洋地域での受注活動の推進に併せて、サービス&サポート事業を強化しました。冷熱機械事業では、国内市場が伸び悩む一方、中国市場は現地拠点における販売が好調に推移しました。

当第3四半期連結累計期間における同事業の売上高は1,785億3百万円（前年同期比1.2%減）、セグメント利益は20億6百万円（前年同期比85.5%減）となりました。

エンジニアリング事業では、廃棄物処理施設の維持管理・保守(O&M)はほぼ例年並みの発注となりましたが、東日本大震災の影響により新規建設工事(EPC)等において発注の遅れも見られました。このような状況の中、EPCの技術力及びO&Mの全国サービス網を活用した一体運営をさらに強化し、市場環境と顧客ニーズの変化に的確に対応するための諸施策を推進しました。

当第3四半期連結累計期間における同事業の売上高は290億21百万円（前年同期比8.8%減）、セグメント損失は26億12百万円（前年同期比36億37百万円の悪化）となりました。

精密・電子事業では、世界的に景況感が低調に推移したことやタイの洪水の影響などにより、半導体製品の需要低迷が続いています。スマートフォン等のタブレット型端末の市場が成長をみせておりますが、パソコン市場の低迷をカバーするには至らず、半導体メーカは設備投資を抑制する傾向が続いています。このような状況の中、生産性の向上や海外生産・海外調達の推進、装置立上部門での人材配置の最適化を進めました。

当第3四半期連結累計期間における同事業の売上高は498億79百万円（前年同期比8.4%増）、セグメント利益は60億66百万円（前年同期比8.5%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(総資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ仕掛品が117億36百万円増加しましたが、現金及び預金が302億33百万円、受取手形及び売掛金が297億55百万円減少したことなどにより、453億57百万円減少して4,625億40百万円となりました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債総額は、前連結会計年度末に比べ支払手形及び買掛金が121億82百万円、有利子負債が237億94百万円減少したことなどにより、400億28百万円減少して3,129億30百万円となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、配当金21億10百万円の支払い、為替換算調整勘定の26億10百万円減少及び四半期純損失9億30百万円の計上により、前連結会計年度末に比べ53億28百万円減少して1,496億10百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の通期業績見通しにつきましては、前回決算発表時から変更はありません。

《業績見通し》

()内は前期比増減

	連結業績	
売上高	3,950億円	(△1.7%)
営業利益	200億円	(△36.6%)
経常利益	160億円	(△44.3%)
当期純利益	80億円	(△71.6%)

《セグメントごとの業績見通し》

()内は構成比

	売上高		セグメント利益	
風水力事業	2,700億円	(68.4%)	130億円	(65.0%)
エンジニアリング事業	500億円	(12.7%)	0億円	(0%)
精密・電子事業	650億円	(16.4%)	65億円	(32.5%)
その他の事業	100億円	(2.5%)	5億円	(2.5%)
全体	3,950億円	(100%)	200億円	(100%)

なお、実際の業績等に影響を与える可能性のある重要な要因には以下の事項があります。なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。

1. 市場環境
2. 大型プロジェクト及び海外事業
3. ドイツ・インフラサブ・プロジェクト
4. 事業再編等
5. 為替リスク
6. 金利変動リスク
7. 災害や社会インフラの障害発生にかかる影響
8. 繰延税金資産
9. 資材調達
10. 訴訟リスク
11. 法的規制
12. 土地売却費用増加リスク
13. 輸出債権回収リスク

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	100,675	70,442
受取手形及び売掛金	161,512	131,756
有価証券	3,327	4,114
商品及び製品	7,988	9,454
仕掛品	40,413	52,149
原材料及び貯蔵品	18,473	20,371
その他	41,479	47,420
貸倒引当金	△1,447	△1,223
流動資産合計	372,422	334,486
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	38,408	36,688
機械装置及び運搬具（純額）	22,756	21,478
その他（純額）	28,558	28,891
有形固定資産合計	89,723	87,057
無形固定資産		
投資その他の資産	7,237	6,038
投資その他の資産		
投資有価証券	22,200	19,735
その他	19,549	18,160
貸倒引当金	△3,233	△2,938
投資その他の資産合計	38,515	34,958
固定資産合計	135,476	128,054
資産合計	507,898	462,540

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	98,923	86,740
短期借入金	68,383	78,350
1年内償還予定の新株予約権付社債	20,000	—
賞与引当金	6,337	3,549
役員賞与引当金	164	51
完成工事保証損失引当金	7,073	6,539
製品保証引当金	1,794	2,014
工事損失引当金	16,977	15,788
土地売却費用引当金	2,871	1,884
その他	37,554	40,359
流動負債合計	260,078	235,277
固定負債		
新株予約権付社債	20,000	20,000
長期借入金	50,655	36,575
退職給付引当金	15,681	14,634
役員退職慰労引当金	359	290
資産除去債務	1,769	1,796
その他	4,413	4,356
固定負債合計	92,880	77,652
負債合計	352,959	312,930
純資産の部		
株主資本		
資本金	61,284	61,309
資本剰余金	65,213	65,238
利益剰余金	40,759	37,929
自己株式	△266	△274
株主資本合計	166,990	164,203
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,053	150
繰延ヘッジ損益	△9	△8
為替換算調整勘定	△16,083	△18,694
その他の包括利益累計額合計	△15,039	△18,552
新株予約権	363	412
少数株主持分	2,625	3,547
純資産合計	154,939	149,610
負債純資産合計	507,898	462,540

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	265,990	264,349
売上原価	195,275	208,693
売上総利益	70,715	55,656
販売費及び一般管理費	50,289	49,591
営業利益	20,425	6,064
営業外収益		
受取利息	194	123
受取配当金	281	272
持分法による投資利益	205	6
その他	877	605
営業外収益合計	1,559	1,008
営業外費用		
支払利息	2,427	1,917
為替差損	1,471	2,512
その他	725	288
営業外費用合計	4,625	4,718
経常利益	17,359	2,354
特別利益		
固定資産売却益	1,007	37
投資有価証券売却益	1,218	83
事業譲渡益	—	150
特別利益合計	2,226	270
特別損失		
固定資産売却損	361	18
固定資産廃棄損	199	66
投資有価証券評価損	176	139
関係会社整理損	—	168
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	906	—
その他	36	57
特別損失合計	1,682	450
税金等調整前四半期純利益	17,903	2,174
法人税等	7,159	2,327
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	10,744	△153
少数株主利益	507	777
四半期純利益又は四半期純損失(△)	10,236	△930

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	10,744	△153
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△806	△905
繰延ヘッジ損益	△1	1
為替換算調整勘定	△4,871	△2,716
持分法適用会社に対する持分相当額	△46	△7
その他の包括利益合計	△5,725	△3,627
四半期包括利益	5,018	△3,781
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,592	△4,443
少数株主に係る四半期包括利益	426	662

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	17,903	2,174
減価償却費	10,008	9,207
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	906	—
有価証券及び投資有価証券売却損益 (△は益)	△1,218	△42
引当金の増減額 (△は減少)	△15,069	△6,696
固定資産売却損益 (△は益)	△645	△18
受取利息及び受取配当金	△476	△396
支払利息	2,427	1,917
売上債権の増減額 (△は増加)	34,013	28,781
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△11,702	△15,014
仕入債務の増減額 (△は減少)	△11,594	△12,034
その他	8,150	1,511
小計	32,703	9,389
利息及び配当金の受取額	707	729
利息の支払額	△2,216	△1,692
法人税等の支払額	△6,608	△5,405
営業活動によるキャッシュ・フロー	24,585	3,020
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△10,285	△5,870
固定資産の売却による収入	16,909	183
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△382	△3,241
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	1,951	759
子会社株式の取得による支出	△28	—
貸付けによる支出	△947	△2,062
貸付金の回収による収入	7,621	1,590
その他	160	86
投資活動によるキャッシュ・フロー	14,998	△8,554
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△4,699	2,274
長期借入れによる収入	4,429	279
長期借入金の返済による支出	△9,281	△5,814
社債の償還による支出	—	△20,000
自己株式の取得処分による収支	△33	△8
配当金の支払額	—	△2,110
少数株主からの払込みによる収入	—	240
少数株主への配当金の支払額	△437	△691
その他	△609	△407
財務活動によるキャッシュ・フロー	△10,632	△26,237
現金及び現金同等物に係る換算差額	△965	△1,053
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	27,986	△32,825
現金及び現金同等物の期首残高	81,711	104,002
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	—	311
現金及び現金同等物の四半期末残高	109,698	71,488

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	風水力事業	エンジニア リング事業	精密・電子 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	180,722	31,811	46,020	258,554	7,436	265,990	—	265,990
セグメント間の内部 売上高又は振替高	744	64	7	816	3,478	4,294	(4,294)	—
計	181,466	31,875	46,028	259,370	10,915	270,285	(4,294)	265,990
セグメント利益又は損失 (△)	13,830	1,024	5,593	20,448	△158	20,289	135	20,425

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ビジネスサポートサービス等を含んでいます。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去です。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	風水力事業	エンジニア リング事業	精密・電子 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	178,503	29,021	49,879	257,403	6,946	264,349	—	264,349
セグメント間の内部 売上高又は振替高	568	0	2	570	2,694	3,265	(3,265)	—
計	179,071	29,021	49,881	257,974	9,640	267,615	(3,265)	264,349
セグメント利益又は損失 (△)	2,006	△2,612	6,066	5,461	413	5,874	189	6,064

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ビジネスサポートサービス等を含んでいます。
2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去です。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

受注及び販売の状況

① 受注の状況

(単位：百万円)

セグメントの名称	前第3四半期 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	前連結会計年度 (自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日)
風水力事業	181,493	198,828	262,155
エンジニアリング事業	44,105	35,346	82,550
精密・電子事業	52,034	43,493	74,620
報告セグメント計	277,633	277,669	419,327
その他	8,012	3,646	11,665
合計	285,645	281,316	430,992

② 販売の状況

(単位：百万円)

セグメントの名称	前第3四半期 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	前連結会計年度 (自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日)
風水力事業	180,722	178,503	268,942
エンジニアリング事業	31,811	29,021	51,660
精密・電子事業	46,020	49,879	67,902
報告セグメント計	258,554	257,403	388,505
その他	7,436	6,946	13,169
合計	265,990	264,349	401,675

③ 受注残高の状況

(単位：百万円)

セグメントの名称	前第3四半期 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	前連結会計年度 (自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日)
風水力事業	172,158	175,263	157,801
エンジニアリング事業	69,943	95,133	88,813
精密・電子事業	18,368	12,369	18,942
報告セグメント計	260,470	282,766	265,557
その他	6,688	2,698	4,727
合計	267,158	285,464	270,285

(注) 上記金額は販売価格によっており消費税等は含んでいません。また、セグメント間取引消去後の金額です。